

# 慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1992(春・夏号)



vol. 7

## SHIKI

# 2nd総会

平成4年11月29日(日) 京王プラザホテル

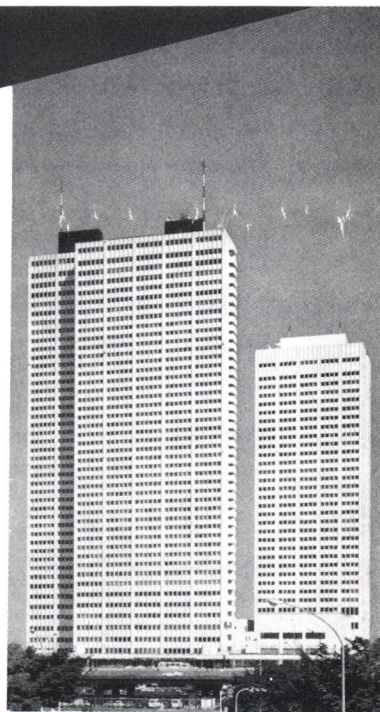
志木会が結成され、早くも2回目の総会!

なつかしい顔… 語らい… 唱い…

&

[福引抽選]豪華景品多数の驚き! 喜び!

パーティーだ、フィーバーだ、全員集合だ



(創立総会より)

# FROM SHIKI ●志木だより

## OB諸君の活躍

最近、たいへん嬉しいことですが新聞その他で志木高OB諸君の活躍が目につきます。

昨年8月には読売新聞社の主催で行われた「東京発・あなたが世界にアピールしたいこと」をテーマとする学生論文コンテストで、法学部法律学科1年の鈴木隆太郎君の論文「脅威の自然破壊」が最優秀賞を受賞しています。大学院生・大学生・短大生の応募作品219点の中から選ばれたものです。審査員の講評では「環境問題をテーマにし、人類と自然との共存について安定度の高い作品である。環境破壊とその対応の現状を批判するだけでなく、『自然破壊とは文明そのものに付随する宿命的危機だ』と強調している。しっかりした論述の座標軸をもっているに違いない。」と高く評価されています。

12月には第41回全日本学生法律討論会において同じく法律学科3年勝浦大達君が「立論の部」で第1位に選ばれています。「女子大学から共学校に変わった後も男女の定員枠に差をつけていたA国立大学を受験した男子が、女子の最低合格点よりも高い得点にも拘らず不合格になったことを不服として提訴するとの設問に含まれた憲法問題に言及せよ。」という出題について、複雑な論旨を立てながらもそれを明解に論じ、態度も立派ですべての審査員に好感をもって迎えられたということです。

本年1月には、種村貴史君が恒例の百人一首第38期名人位を獲得し、8年連続8回目の

名人位につくという快挙をなしとげました。

「百人一首を覚えたのは慶応志木高のとき」として朝日新聞の「ひと」欄に紹介されているのを見た人も多いことと思います。同欄で種村君は「百人一首の魅力は緊張感。将棋や囲碁は自分の考えを組み立てていけるが、かるたは札が読まれるまで何が飛びだすかわからない。実力差があっても運が絡む。その意外性がいい。」と感想を述べています。

これらのニュースは学校の掲示板で紹介しましたが、在校生たちもそれぞれに興味をもって見ていたようです。良い意味での刺激を与えてくれたものと思います。

## 卒業と進学

今年度の卒業式は3月24日に行われました。卒業生総数は261名です。新しい志木会員として迎え入れていただきたいと思います。進学状況は下記の通りでした。

文学部	3名
経済学部	106
法学部法律学科	45
法学部政治学科	45
商学部	9
医学部	7
理工学部	27
総合政策学部	6
環境情報学部	6
辞退(他大学受験等)	7

なお、今年度より卒業後40年にあたるOB諸氏に卒業式に列席願ひ、新しい卒業生たちの門出を見守っていただくことになりました。

今回は1期及び2期の志木会員のうち住所の確認できている96名の方々をご案内しています。

### 教員室の異動

外国語科の萩原健次先生が3月末日付で定年退職されました。1970年(昭和45年)4月に本校に着任されて以来20余年にわたり英語の授業を担当されました。また庭球部長に続いて写真部長を長くつとめられました。昨年夏に体調をくずし暫く入院を余儀なくされましたが回復され学校に戻られたのは喜ばしいことでした。今後も健康に留意されお元気にお過ごしいただきたいと思ひます。

新年度より国語科の伊東明弘先生が湘南藤沢中・高等部に移籍されます。同じく社会科

の齊藤英里先生が北海道武蔵女子短期大学へ移籍されます。同じく新年度より国語科・中地譲治先生(塾文学部国文学専攻卒業)、外国語科・河内一博先生(塾商学部、文学部英米文学専攻卒業)、理科・井沢智浩先生(筑波大学第2学群生物学類卒業、同大学院修士課程教育研究科修了)が着任されます。

(松崎記)

### 志木演説会

今年度中に開催された3回をあわせて志木演説会も通算61回となりました。人間の年齢に例えれば還暦の回数を重ねたこととなります。これまでの講演をふり返ると別表の通りとなります。皆さんの在学中の講演も含まれているはずですが、記憶に残っていますか。

## 志木演説会の記録

回数	開催年月日	講師	演題
1	S.32. 5. 4	奥井復太郎	慶應義塾について
2	S.32. 6.12	田島 一郎	数学の学び方
3	S.32. 7.15	森 八郎	白蟻の習性について
4	S.32.10.15	村田 武雄	我々に芸術はいかに必要か
5	S.33. 1.24	金原賢之助	米国・台湾旅行
6	S.33. 5.14	土橋 俊一	福沢全集の編纂
7	S.37. 1.17	吉田 啓一	ヨーロッパの話
8	S.38. 1.17	吉田 啓一	
9	S.38. 5.31	島崎 隆夫	英国留学でみたこと感じたこと
10	S.40. 4. 9	富田 正文	福沢先生と長沼事件

回数	開催年月日	講師	演題
11	S.41. 2. 3	会田 倉吉	福沢先生について
12	S.42. 2. 3	吉田小五郎	家庭における福沢先生
13	S.43. 2. 3	佐原 六郎	福沢先生の社会観
14	S.44. 2. 3	宮崎 友愛	福沢先生の学問観
15	S.45. 2. 3	中山 一義	
16	S.45. 5.22	藤田 広一	科学的な物の見方
17	S.45.10.29	村松 暎	毛沢東の中国
18	S.46. 2. 3	高橋誠一郎	私の見た福沢先生
19	S.46. 6.14	池田弥三郎	日本文学への招待
20	S.47. 2. 3	内田 英一	水脈のあとは大きい

回数	開催年月日	講師	演題
21	S.47. 6. 9	三浦 朱門	青春と文学
22	S.47.11.13	渡辺 格	生命と物質
23	S.48. 2. 3	高村 象平	福沢精神私見
24	S.48. 6.19	十時 巖周	工業化と未来社会
25	S.49. 2. 2	渡辺徳三郎	福沢先生の遺言
26	S.49. 5.14	加藤 寛	経済学の見方・考え方
27	S.50. 2. 3	野口 祐	福沢諭吉と現代世界
28	S.51. 2. 3	松本 正夫	福沢諭吉—思想とその人—
29	S.51. 5.26	白石 孝	文化と経済 —世界を見る窓—
30	S.52. 2. 3	神山 四郎	福沢諭吉の歴史哲学
31	S.52. 6.19	田島 一郎	数学を楽しく
32	S.53. 2. 3	手塚 豊	福沢先生と法律
33	S.53. 6.13	石川 忠雄	これからの社会と慶應義塾
34	S.53.10.16	宮崎 澄夫	学生時代の思い出
35	S.54. 2. 3	西岡 秀雄	物の見方と考え方
36	S.54. 6.15	村井 実	歴史の断面
37	S.55. 2. 2	池田弥三郎	一冊の本
38	S.55. 6. 9	島崎 隆夫	近世思想家に学ぶ —心か制度か—
39	S.56. 2. 3	池田 優	日本人の西洋体験 —福沢先生を中心として—
40	S.56. 6. 2	浅井慶三郎	「最近の百貨店及びスーパーの出店問題」
41	S.57. 2. 3	飯田 鼎	福沢諭吉と西郷南洲

回数	開催年月日	講師	演題
42	S.57. 5.10	高橋 碩一	歴史に生きる人生
43	S.58. 2. 3	若林 真	塾風論
44	S.58. 5.16	手塚 豊	慶應義塾125年史 あれこれ
45	S.59. 2. 3	石坂 巖	福沢諭吉という 人間について
46	S.60. 2. 2	浦 昭二	コンピューターと社会
47	S.60. 6.28	石川 忠雄	私と慶應義塾
48	S.61. 2. 3	内山 秀夫	福沢諭吉—人と時代—
49	S.61. 6.17	村田 昭治	日本企業の成長の秘密
50	S.62. 2. 3	鈴木 孝夫	虹の色は何色か —言語と文化の関係—
51	S.62. 6.11	伊藤 清司	二つのみんぞく学
52	S.63. 2. 3	河北 展生	福沢先生と中津
53	S.63. 6.15	相磯 秀夫	社会の変動と学問のあり方
54	H.1. 2. 3	桑原 三郎	木村摂津守と小野友五郎
55	H.1. 7.11	宮下 啓三 協力(朗読) 新田勝江(俳優座) 原田清人(俳優座) 遠藤玲子(文学部 独文科4年)	言葉について —朗読による言葉の鑑賞—
56	H.2. 2. 3	田山 力哉	映画と野球と慶應義塾
57	H.2. 7. 6	鈴木 祐一	法律家への道 —慶應義塾に学んだもの—
58	H.3. 2. 2	平川 祐弘	フランクリンと福沢諭吉を 通してみた日米関係
59	H.3. 7.16	友寄 英哲	四万桁への旅 —ギネス記録への挑戦—
60	H.3.12.19	西岡 秀雄	日本人の源流を探る
61	H.4. 2. 3	川澄 哲夫	福沢諭吉とジョン万次郎

# 同期会だより

1期 [四季会]

拝啓 その後益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

光陰如矢、母校よりのお招きを受けふと指折数えれば卒業以来四十有余年、紅顔の美少年もいつしか簪に耐えざらん齢ひととなりました。

我々の残された人世を祝福するが如、前日までの雨も上がり春の太陽が眩しく輝く中で慶應義塾志木高等学校第四十二回の卒業式典が執り行われ、特別に用意して戴いたOB席で在校生、ご父母と共に卒業式に参列しました。

鉄野志木高等学校長より一人一人のOBが壇上に上がり「記念証」の授与を受けました。まさかこの齢になって学校より賞状を戴こうとは夢にも思っておりませんでしたので、この感激も一入のものがありました。それに加えて我々に送られた在校生、ご父母の暖かい万雷の拍手を背中に受けて目頭の熱くなるものを感じました。

式典の最後は、井上栄一君のピアノ伴奏で「塾歌」を全員で斉唱し滞りなく終了しましたのでご報告致します。

大谷記

当日の参加者は以下の通り。(順不同・敬称略)

今井義夫、桜井英太郎、菊地誠之助、矢島醇一、  
桜井栄三、田中久雄、桜井孝之、井上栄一、藤井 淳、  
中込 旭、稲葉義美、龍野和久、神山 尉、加藤精三、  
高木道廣、栗田陸弘、宮代 茂、松本仙太郎、大桐菊郎、穂刈幸雄、大谷 熙、 (以上I期)  
鴻田一章、河辺勝利、林 二郎、宮本 明、遠山正秀、  
高篠富雄、忽滑谷岱司、堀江信夫、谷澤誉志、花井良文、細野 勝、仙石正夫、嵐田三郎 (以上II期)

追記 学校側をご招待した心ばかりの祝宴に出席できないということでII期の高篠富雄君、谷澤誉志君、忽滑谷岱司君より金一封のご寄付を戴きましたので併せてご報告します。



**卒業40周年記念証**

**大谷 熙 君**

貴君が本校を巣立たれて40年の歳月が流れました。社会のそれぞれの分野で活躍されている先達として 今日ここに新しい門出をする後輩たちの卒業式にご列席いただきました。永い年月に亘り後輩たちの良き目標となられ、本校を支えていただいたことへの敬意をこめてここにこの記念証を贈ります

1992年3月24日

慶應義塾志木高等学校

拝啓 時下ますます清雪の段大慶に存じます。本校では今年度より毎年の卒業式に卒業後四十周年に当たる卒業生各位をお招きして新卒業生諸君の門出を祝福して頂くことといたしました。今年度は第一回及び第二回卒業生各位を左記の要領でお招きいたしますこととなり、またなにとぞご臨席下さいますようお願い申し上げます。

敬 具

日 時 三月二十四日(火) 午前十時開式  
(午前九時四十五分までに本校下さい)

式 場 本校体育館

追ってお手紙ながら同封の誓書でご出席を三月七日までにお知らせさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

一九九二年二月

慶應義塾志木高等学校校長  
**鉄 野 善 資**

6期

4月17日(金) 午後六時半から、三田キャンパス『幻の門』の筋向い、三田中国飯店にて、同期の会を開催します。多くの懐しい顔が集る筈です。大館先生、高山先生、三田先生もご出席いただける予定です。きっとその頃は三田山上の桜の花も終了、銀杏の新芽が顔を出していることでしょう。志木の校門を出て三十七年、今は亡き当時の宮崎澄夫校長先生も天国で、微笑んでおられるような気がします。

(第6期 内藤 久和雄)

11期

[遊志会]

平成4年度のスケジュールが決まりました。今年はセミナー1回、ゴルフ会2回、懇親会1回と従来より回数を少なくして内容をこく、できるだけ多くの皆さんに出席頂けるよう企画してみました。そして、今年の11月、志木高創立40周年に当り志木会の総会が予定されておりますので大いに盛りあげて行きたいと考えています。

尚、今年の幹事はA組の大海渡嘉夫君、坂本照夫君、鴻田益孝君、橋本裕治君、駒月昭雄君、西松実君にお願いすることになりました。

[平成4年度スケジュール]

- 4月10日(金) 第14回セミナー  
於：銀座「SPACE88」  
時間：6:30PM～  
テーマ：「カルシウムで成人病の予防」  
講師：黒田重臣君(11期、国立大蔵病院内科)
- 6月上旬 第44回ゴルフ大会  
於：未定 (幹事：松川勉君)
- 7月25日(土) 懇親会  
於：青山「仿膳飯荘」  
「清朝中国宮廷料理」の午餐会  
時間：12:00～2:00PM

- 10月上旬 第45回ゴルフ大会  
於：未定 (幹事：前回優勝者)
- 11月29日(日) 志木会総会

於：京王プラザホテル  
出来るだけ多くの方に出席願いたいと思います。遊志会の忘年会も当会で兼ねたいと考えています。

以上  
(11期 馬淵祥宏)

13期

我ら13期は今年で大学を卒業して25年を迎えた。この3月23日に挙行された卒業式に50年目の大先輩と一緒に塾よりご招待を頂き参席した。

歳月の早さをしみじみと感じると共に卒業生と肩を並べて、親になった錯覚を覚えた。列席した仲間は塾で学び、社会へ巣立ったことを誇りに思い、改めて塾の良さを肌で感じとった事だろう。2度目を待たれる諸兄及び後輩諸君、是非志木でも味わいたいものだ。

(13期 千葉宗雄)

40期

私達が志木高を卒業したのが1990年3月、2年の歳月が過ぎました。「光陰矢の如し」と言いますが、月日の経つのは本当に早いものです。私達はまだ大学生なので、キャンパスなどで会う機会も多く、同期会を開催するほどには至っていません。みんなが大学を卒業して、社会人としてそれぞれに落ち着いてきた頃には、同期会を開催したいと思っています。これからも、様々な面でのご支援、ご協力をお願いします。

(40期 井上 晴生)

訃報

- 松橋 良直 (1期) 平成3年6月
- 小野田 晏久 (1期) 平成3年12月
- 奈良部 誠四郎 (1期)

名簿委員会よりのお願い

来たる名簿改定にあたって以下の会員の方々の住所などが不整備です。より充実した名簿発行のために会員皆様のご協力が、ぜひとも必要です。お忙しいことは存じますが、調査方々お願い致します。判明した方については同封のハガキにて事務局までご一報の程をお願い申し上げます。

第1期

相原喜一 秋本隆男 有坂幸三郎 生田一哉 石田隆一 板橋澄男 大沢睦玄 川口明 黒瀬武雄 篠岡伸吉 篠原祥郎 篠原悠基 祖父江有司 高木敏雄 高橋忠治 村島剛一 中西信雄 渡部福司

第2期

宇津木貞夫 江成敏夫 加藤英治 兼田重剛 佐藤和夫 佐藤克己 津川豊浩 堂本信夫 中村信誠 山田昭一郎 松宮野太郎 宮野小隆一

第3期

東明良 伊勢吉春 池尻勉 岩井和也 上野良明 梅原耕一 海老沢清彦 小田切康平 岡本元治 小宮啓道 河野幸一郎 榊原善光 鈴木光男 塚越一二

三村哲次 村上彬 山下康邦 山元康邦 横川勇

第4期

石原浩 近藤善夫 湯村嘉朗 吉岡剛博

第5期

浅見邦夫 井堀繁雄 岩田洋治 館野勝 草柳進 田中盛一郎 多賀博 高瀬朋亮 高山英次 丹野宏人 平野博定 村岡宏 望月浩美 森田崎 山崎吉璋 山本正裕

第6期

小沢毅 大久保好藏 大里高司 荻野一郎 粕谷陽一郎 木城章夫 黒川博元 森川昭祐

第7期

岩崎浩一 岩野一彦 小田英雄 鈴木一男 岩井充 林基一 細井稔

第8期

味戸美樹 井上洋二 内堀秀虎 大久保一成 下園四郎 野中光政

藤川俊彰 前田裕二

第9期

岩井清方 (武村) 岡田威夫 亀尾康憲 川田淳也 小林紀 小林武 佐藤和雄 佐藤義夫 桜井嘉一郎 崎崎秀一 鈴木基晴 田村健二郎 高仲栄一 高橋国男 舟久保克 前田光男 目崎光義 吉田光樹

第10期

田中公司 多根幹夫 中原浩哉 西井浩史 猪股史爾 (高野) 石川和夫 大橋英樹 岡谷一彦 岡谷彰矩 岡谷陽弘 白川昭 中村光延 西村宏 福田高義 吉田英樹 佐藤洋之 佐野強一 斎木敬邦 関裕志 田中英毅 渡辺俊夫 伊東篤夫 今中康夫 大谷英石 奥村隆一 官林秀樹 官林守康 上野建夫 松本宣照 守屋宣照

第11期

池田嘉秀

市川清隆 木脇俊孝 北木哲夫 鈴木之内仁 細井正弘 森和樹 阿部良三 秋成恭行 今井直躬 佐藤宏浩 須田泰明 鈴木日出彦 成瀬康中 古田正毅 古田勝 吉武徹 加藤倫義 金木邦夫 津木迪 佐藤透 松島宏允 吉原陽三 原田治 山口侑二 井上武彦 木村武彦 久保芳二 高山仁暢二 (渡辺) 中島実 難波光由

第12期

今村洋一 唐鎌潔 藤村文孝 村上礼 荒沢信夫 奥平慎男 白壁征夫 辻欣志 中村直昭 野呂真也 牧松島保正 山本典嗣 上林淳 小石昌 瀨川昌 登山魁 本山孝 牧野準一 今井元豊 大石迪夫

大岡洋公 西平吉 大西皓孝 根谷信行 深谷正典 福井裕二 松井政直 森村 横尾

第13期

久礼初男 後藤昌三 長浜哲一郎 水野善弘 森勝章 高知小 高尾勲 丹羽慎一郎 西出隆雄 浜田宣孔 藤里昭雄 八木高孝 吉武幸晴 石村烈雄 片岡洋一 菊間裕展 葛井統也 栗田博之 五箇俊男 佐羽直毅 林勇 棟田直毅 百瀬勇臣 矢部雄一 山本橋彦 若田八郎 渡辺巖夫 伊川洋助 大崎薫次 大隅勇次 香川誠彦 兼子維彦 鴻森真也 渋谷健治 島田忠夫 中井康夫 村岡直也 百崎泰 山本琉生

第14期

石塚久 加藤精一

五郎治 中山暗 村瀬博 清水宣夫 白上雅美 根田豊 瀬川徳治 関豊 田中嘉昌 高橋健太郎 築山正俊 鳥羽映一 広瀬泰彦 大木俊雄 大城秀隆 周防仁海 中尾公一 西浦文崇 播磨二 柳川源二 岡本武樹 神山昌之 頼田悌二 中島康三郎 中田良次 真島晃

第15期

荒邦彦 山下均 小野直 岡村俊夫 高井真一 新井正隆 川村邦生 小寺隆之 小山和人 瀬戸龍介 谷口烈 石村具伸 岩倉保晴 森賢生 門間久正 阿部一之 秋元格 鈴木慶一 西山裕之 野村明徳 若林紀生

第16期

一色伸夫 市瀬祐二

今井正弘 泉裕行 内田利一 梅田那宏 小沢野展 小沼哲夫 大沢博史 大島次郎 奥田武裕 加藤加藤 加藤正明 工藤親彦 佐木直人 里見修 塩入啓正 重田吉宏 清水一夫 須水智博 関隆夫 関谷直人 多田常紀 高橋清弘 竹松泰彦 中川晃三 中村長三 西村亨 根木圭治 原一郎 坂東伊作 平尾忠一 藤村幸一 本田明 松尾達隆 松岡光彦 松下正 松谷洋 三原光正 宮坂泰史 森田八彦 矢沢誠吾 柳沢良和 山崎紀一郎 山田恒憲 吉田進 渡辺正之

第17期

小山雄太 会田晴功 打矢功一 上岐陽一 上野照雄 西野知一 江前公秀 門脇正樹 小高秀樹 杉本仁雅 田中雅一 滝沢透 渡辺雅夫 藤田秀夫 森裕志 青山高志 柴田均 武石恒明 小川雄次 川口英治 張根圭治 増田富佐 松井博行 米林俊一 牧兼生

第18期

池尾博文 小野沢義雄 大場昭吉 斎藤仁志 斎坂好昭 本田昭正 鈴木宣雄 高橋徹夫 竹沢美治 水野和則 宮平正樹 村田久 鷺山幸夫 奥裕一丸 鈴木井隆 坪井良一 手塚徳富 富田保宣 浜田富良 堀内良一 前宮正人 宮崎正裕 横安達 安田次郎 有田敬一 井口池内今井正

川内 信次 道行 一誠 文雄 隆一郎 勇造 英岳 耕二 三夫 三雄 規陽 宗救 昭人 巖啓 一雄 經豊 清要 隆康 邦正 行治 志雄 勝明 隆美 三善 豐明 公由 正敬 一高 拓聖 和男 隆史 二義 義人 博哲 男真 久照 進介 洋典 慎一 古徹 真人 遵敬 一隆 忠晴 一

岡加 秀樹 昇司 俊雄 正孝 武征 正敬 和義 順一行 道夫 明裕 望秀 寿一郎 阿曾 元博 会田 公平 直圭 亮一 直幹 睦正 昌巴 敏之 茂美 幸雄 瑞夫 隆男 真行 登隆 正夫 和富 人塚 澄夫 克一 史研 茂雄 幸藏 明均 稔夫 喜六 裕司 良一 藤薰 章幸 保一 英一 行功 文明 淳一 和雄 耕平 未知 雅彦

第20期

佐藤 和義 傑正 善英 幸彦 雅裕 扶行 雅彦 比古 哲也 和男 薰樹 和郎 俊明 武武 根山 中菱 平井 古川 松岡 分須 今野 亀井 佐野 内藤 西卷 中藤 野洋 船吉 西 石井 和喜 石川 隆彦 石山 吉男 石原 圭一 則夫 克己 治隆 博宣 良美 武司 彰則 昭弘 彦男 信一 潤哉 一郎 幸道 秀一 幸芳 善仲 夫繁 樹正 己哲 夫龍 男宏 紀隆 治英 夫一郎 辰哉 浩博 生恒 一彦 浩

第21期

第22期

神田 貞利 北原 倉林 須田 土井 三右 宮田 横阿 上田 大村 杉山 谷口 野沢 三富 森部 内田 金森 木佐 貫愛 清水 曾根 塚内 野田 花岡 安野 小野 久保 武井 富田 中西 方増 田迎 山依 藤戸 大熊 島鶴 谷浜 野村 安田 吉田 稲原 占部 小田 大沢 川瀨 小柴 篠塚 岡染 谷高 田高 橋中 井長 沼登 本福 田居 丸山 谷貝 山岡 吉岡

第23期

第24期

伊藤 博之 幸彦 祥平 彦次 威克 史章 雄尚 志明 也直 浩一 洋三 潔一 謙吉 正雄 克彦 志己 朗夫 洋介 三浩 宏夫 律弘 和夫 善一 啓樹 晴美 裕龍 夫肇 有司 裕寬 茂幸 榮吉 秀和 利昌 純貢 伸二 匡彦 秀彦 春夫 幹夫 卓志 久良 雅明 和史 健輔 恒則 善之 古藤 原慎 太郎

栗山 千景 親史 雅人 隆衛 宣裕 一郎 哲博 俊郎 茂男 利男 茂太郎 繁輝 壯吉 浩平 裕飯 沼久 昭久 伸一 夫正 博史 靖史 幸治 浩二 治伸 秀明 康敏 幸介 清史 洋司 宏一 洋一 慎介 夫宏 董茂 雄良 男雅 一憲 一信 裕仁 敏雄 昌滋 誠隆 昌久 達也 次郎 雅昭 秀行 祐

第26期

桜井 裕久 正紀 志郎 正康 悦郎 聡明 卓義 賢和 令輔 洋一 守有 勝廣 人之 隆夫 一郎 正宏 利夫 幹史 典之 健人 孝之一 晴良 正宏 一朗 文之 茂晴 恒文 博彦 仁高 安秀 哲夫 聖義 篤夫 浩晚 正裕 章典 紀由 行彦 邦彦 伸好 正明 計勝 由哲 惠元 正士 幸彰 伸達 明和 田



第27期

角倉清晃 河合壯一 木村孝博 園田秀泰 安藤俊勝 飯田智弘 石井一朗 岩田徹孝 内海康仁 小松康仁 中島健次 西田弘道 浜田卓 堀谷英作 前田博光 宮崎光弘 横田光弘 大上祐一郎 上京龍治 関俊明 田川雄一 高橋健三 中野幹也 中野紀男 星野晴彦 增田井出 井出好昭 石田茂利 嘉藤典俊 杉本拓司 竹野延男 德山雄鐘 林本真朗 本田照王 美平英仁 村戸雅之 青加藤直之 茂松武文 須賀有弘 谷内雄一 古川一聡 増田伸人 安岡博之 諏訪宏 竹田周作 角田哲夫 中野宗樹 渡辺

第28期

安達新一郎 阿部滋 飯島喜一 勝木信二 堀裕一 川上幸一 向後雅昭 柴田秀弘 新高悦彦 高橋亮彦 福田雄彦 山田守之

孝博二州明秀樹夫治一和之大可徹誠雄 小島小杉井田中村南村若林秋田池田岡田内川浪花松村(李俊彦)後藤口相馬田中山長沢西松谷渡辺梅河間坂本中村安田石井久保田小島 大熊仲治 大野太郎 木村親永 国貞泰生 鈴木康二 関田雅明 藤田俊郎 伊崎寿之 伊崎淳 岡田重昌 桂任人 佐々木鈴木前野松本峯岸武藤安部彰 石田齋藤克文 隆洋一人 裕史一郎 達也俊人 正明一 裕久

第29期

大熊仲治 大野太郎 木村親永 国貞泰生 鈴木康二 関田雅明 藤田俊郎 伊崎寿之 伊崎淳 岡田重昌 桂任人 佐々木鈴木前野松本峯岸武藤安部彰 石田齋藤克文 隆洋一人 裕史一郎 達也俊人 正明一 裕久

小泉繁介 小山智裕 山庭裕昇 清水勤 水口路彦 関高橋拓司 中島篤司 平野哲 井口益宏 桂成秀樹 小柴敬一郎 桜井慎一 野沢智之 広田伸幸 山口拓 吉田幸彦 阿部忠嗣 池上丈二 富田友重 岡崎表金子久志 佐藤佐木宏 野田真島光生 前田邦彦 横山

第30期

植田慎治 内田清丈 内高直人 百瀬春彦 山崎俊郎 青木元一 飯塚浩史 工藤雄一 重松芳郎 松葉慎二 鎌田良正 高瀬真樹 竹内靖晃 福岡雅一 堀井敏大 水野和久 野崎敏大 上野保豊 江森久保 黒田泰明 舟所仁 松田充浩 安藤浩一 石井浩一 小川秀樹 塩川研一 野路弘一 森木潤一 青木林行 佐々木徹彦 新城毅彦 高橋哲也 竹島

村田明弘 目良淳 吉田宏志 米山稔男

第31期

阿部守雄 伊沢伊東和弘 伊岩上佐藤健一 高田政行 平田高久 村田剛一 森本泰暢 吉田敬樹 上蘭英樹 太田惠一 甲斐下俊亨 田辺俊夫 高東雅志 中村昌義 中村一彦 糸賀勇治 河口白真男 高橋真孝 細井真孝 屋代内林真微 緒方寿夫 小宮山和太郎 小山古垣博一 古垣内博一 多和田武 大胡俊 中村昌幸 村重望 山下浩史 米谷慶一 稲垣正久 大谷直 北島英樹 高椋喜幸 鳥居映彦 屋利夫 浜田順道 原丸太秀博 吉田充寿 上田晋司 小沢治之 尾形修 芽野徹 倉持英樹 清水敏暢 親崎茂仁 高橋隆志 德田直人 間野慶一 横山宗夫 吉田晋

第32期

植島幸彦 馬野俊彦

榎本裕 佐野智也 高波伸一 横田良治 荒井治司 川真田潔 佐久間隆成 松田誠太 山本英行 大川正宏 菊地庸輔 二宮直樹 西川徹 橋野敬一 浜野雄喜 半沢公寿 廣瀬竜一 丸山晃 石附知美 大森信彦 木橋達雄 高橋吉彦 東山昌彦 永山昌通 真鍋敬司 伊香和貴 冲永高志 加藤志正 神宮隆 高林秀一郎 寺田洋 山田容敬 大里恒之 川上直哉 黒田正彰 杉岡信宏 園野

第33期

池田重人 内倉真紀 大久保和征 城本卓国 寺友好真 友好半谷川 長谷川信濃 堀越一嘉 松山和也 丸山達也 山田鉄水 阿部浩嗣 伊藤和久 控井真彦 大塚直樹 佐佐敏 須崎敏 高橋敏 深谷裕一 小野一德 大塚和男 加藤昌康 川合康之 川瀬裕司 外尾竜一 根

西脇謙二郎 古沢秀彦 松岡洋介 八木一弘 綾井健太郎 高野慎泰 宮本雅洋 安富淳 山下昌彦 稲村隆司 清水建司 田中敦寛 野矢服部恭行 樋口勝敏 石部直也 江原進 勝目聡 岸本達夫 佐々木慶吾 下妻雅彦 横滨渡辺亮

第34期

大隈賢治 鈴木治 山岐真作 宇賀神隆光 坂原裕光 立田雅人 新美誠 吉村祥一 加藤宣之 栗俣宗之 中村健治 西田健司 室中健司 渡辺進 岸沢啓史 大野啓史 高松慎一郎 前田善徳 横田哲郎 井上弘世 近江康晴 久保修一 瀬戸川賢二 田中充 田晶正樹 西本新也

第35期

大沢宏樹 坂本健夫 長久幹 菊地哲也 加藤哲也 樽見健治 西沢理夫 満田樹人 石谷周煥 大原英二郎 森修 山崎猛 和田悟

黒野雅資 原啓一郎 平本洋一 矢下健二

第36期

大山真且 長田展明 熊田德英 中林幹夫 村田仁志

第37期

納所伸樹 村橋正之 山口林太郎 瀬戸研司 萩野啓哲 上野健二 川又陽介 宮崎吾裕 毛利裕二 東海林毅 坂垣律雄 加藤明之 上原淳 井瀧山広一郎 沼田武彦 三好豊 森本悦朗 松永源太郎 安弘裕二

第38期

田中賢一郎 古屋直人 上野一郎 河田直人 中村克彦 葛西成彦 土田亨 西川寛之 川又衛都 菊池

第39期

池田博一 大塚剛 林浩之 松本圭 北田亮州 世良正晃 津村大雅 富原羅 倉高志夫 原 倉森 香村 電 日高 香村 昌介 鳥越 昌修 内藤 崇人 中嶋 福田 泰

## 慶應義塾志木高等学校同窓会名簿 広告ご掲載のお願い

光陰矢の如しと申しますが、本当に年月の経つのは早いもので、私達の同窓会(慶應志木会)も昭和63年に設立総会を開催し、今秋には第2回総会が予定されております。卒業生も九千名を越し社会の多方面にわたって活躍しております。

同窓会創立以降の会員の増加・動向の理由により、このたび第2回の同窓会名簿を刊行いたすことになりましたが、現在各年度幹事による校正の段階であります。ついては同名簿に広告(個人広告も可)をご掲載賜りたくお願い申し上げます。初回と同様に余剰金を生じることが出来ましたら、学校当局と打ち合わせを

意義に運用致したいと考えております。皆様のご理解あるご協力を得て、より充実した内容の名簿刊行をめざしていく所存につき、重ねてお願いをさせていただきます。

### 【慶應義塾志木高等学校同窓会名簿について】

1. 志木高卒業生(約9,000名)を最新の資料に基づき、氏名・自宅住所・電話番号・勤務先・同電話番号を収録しました。
2. 志木高在校生(約850名)も同様に収録しました。
3. B5判、約600ページ。(10,000部発行予定)
4. 平成4年9月に刊行致します。

## 広告お申し込みについて

◆原稿は出来るだけ完全版下でお願い致します。

◆広告サイズ及び掲載価格

1 ページ[見開き]	(B5版)200,000円
1 ページ(B5版)	100,000円
1/2 ページ(B5版)	50,000円
1/4 ページ(B5版)	30,000円

◆広告料のお支払いについては、お申し込みと同時に下記宛お振込いただきたくお願い申し上げます。

[広告料金振込口座]

1. 受取人住所：志木市本町4～14～1 [慶應義塾志木高等学校内]
2. 受取人名：慶應志木会・広告費口 [会長 櫻井英太郎]
3. 振込先：大和銀行 朝霞台支店
4. 預金口座：普通預金 [口座番号6808442]

◆広告掲載名簿は発行後、贈呈させていただきます。

◆広告お申し込み先

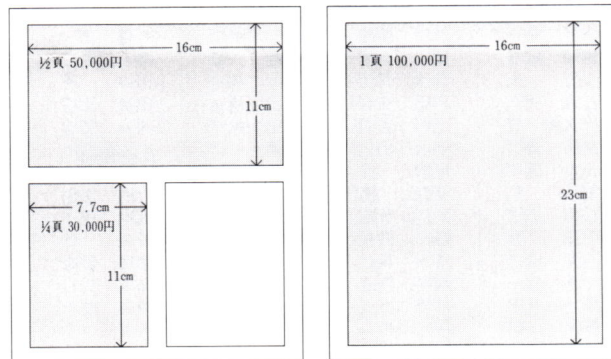
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-11  
中西商工株式会社 中西廣策  
TEL：03-3356-7743  
FAX：03-3356-5494

◆広告に関するお問い合わせ先

慶應志木会名簿委員会  
大谷 熙  
TEL：03-3632-0005  
FAX：03-3635-0012

本橋重夫  
TEL：03-3354-2331  
FAX：03-3354-8676

小笠原準一  
TEL&FAX:048-887-7292



第2回名簿9月発送 乞うご期待!

# MESSAGE

## お 願 い

### ・第2回総会実行委員について

去る2月7日（金）に開催されました幹事会において、前回の会報（第6号）でご案内した第2回総会の実行委員を次のとおり決定いたしました。今後は実行委員が中心となって準備を進めていきますが、会員の皆様方のご協力もよろしくお願いいたします。また当日の受付については各期1名は必要ですので幹事の方を中心にあらためて実行委員会より依頼させていただきます。

実行委員長 多田（7期）  
副委員長 高橋（4期）、五老（9期）

### 部会別実行委員（「」は部会長、\*はキャップ）

- (1) 本部 藤井（1期）、高橋（4期）、山田（6期）、真野（6期）、多田（7期）、五老（9期）、荒木（10期）
- (2) 総括 事務局および各部会のキャップを中心に構成  
多田（7期）、高橋（4期）、五老（9期）、荒木（10期）桜井（11期）、鴻田（11期）、伊藤（12期）、大道（12期）岡本（12期）、本橋（15期）、西村（17期）、増山（17期）中西（19期）
- (3) 総務 「大谷」（1期）、立岡（4期）、青木（8期）、\*本橋（15期）、小笠原（15期）、原田（15期）、岡本（39期）、丸山（39期）
- (4) 財務 「佐藤」（2期）、寺嶋（5期）、\*大道（12期）、須永（17期）
- (5) 受付 「菊地」（1期）、鴻田（2期）、品川（3期）、菅野（3期）、平澤（7期）、磯部（7期）、千葉（13期）、北村（17期）、菅田（20期）、飯田（21期）、外山（23期）、牧野（23期）、赤木（24期）
- (6) 来賓接待 「龍野」（1期）、小林（5期）、菅原（7期）、久保田（9期）、\*鴻田（11期）
- (7) 企画進行 「桜井」（11期）、馬淵（11期）、\*岡本（12期）、\*西村（17期）
- (8) 物品販売 「杉」（4期）、\*中西（19期）、山口（35期）、井上（40期）
- (9) 写真 「矢島」（1期）、脇（15期）、宗田（17期）
- (10) 福引 「菅原」（7期）、馬淵（11期）、\*西村（17期）、中西（19期）

・各期の幹事について

現在事務局に登録されている各期の正副幹事は次のとおりです。1名しか登録されていない期や転勤等で幹事が変更されている期は早急に事務局までご連絡下さい。

期	正	副	副	副	副
1期	菊池誠之助	藤井 淳			
2期	鴻田一章	佐藤弘司	浅川 浩	遠山正秀	
3期	岩崎勝利	菅野光男	岩瀬 充	品川 仁	
4期	高橋公郎	立岡 進	杉 猛		
5期	宮田 勝	寺島延行			
6期	乙部 勝	内藤久和雄			
7期	鈴木正治	平沢寿郎			
8期	青木宏至	杉本亘孝	大須賀均	磯部和宏	須山了一
9期	南部達雄	久保田晃功	加島延夫	志知英男	今村信男
10期	荒木幸生	馬場紘二			
11期	馬淵祥宏	鴻田益孝	桜井 馨		
12期	岡本 哲	朝倉和行			
13期	森 孝	清水武寿	千葉宗雄		
14期	百瀬大策	築山正俊			
15期	倉田伸二	吉原良一	大関和樹		
16期	川端清治	松島茂樹			
17期	北村基樹	荘 敬典	宗田文明		
18期	奥村一人	福島由明			
19期	藤本賢夫	草ヶ谷吉紀			
20期	木原弘人	福本博行	深尾邦彦	菅田 裕	
21期	飯田光茂	福地敏之			
22期	金子康雄	桜井造雄			
23期	外山公夫	佐藤信也			
24期	赤木 均	島影幸有	田沼 潔	中田一郎	
25期	高橋宣行	小川 洋			
26期	山崎嘉正	金子 泉			
27期	吉野幸宏	大山俊雄			
28期	大館 信	望月 一			
29期	清水 昇	佐々木任人			
30期	岸田一男	木島一郎			
31期	嘩道佳明	内匠屋健	松野 徹		
32期	横江資友	町野素久			
33期	新田 浩				
34期	山下 孝	宇賀神隆	奥山研一郎		
35期	松島 修	山口一午			
36期	秋山亮二				
37期	原田純一	渡辺俊一	鍋島康友		
38期	大坪伸至	知久康成	平尾圭市		
39期	丸山和紀	田中浩樹	岡本健司		
40期	税所篤史	井上晴生			
41期	鈴木 和	柏木 徹			

※連絡先 伊藤清一 (12期) TEL03-3432-1393 FAX03-3432-1394  
 増山治一郎 (17期) TEL03-3502-9222 FAX03-3502-9373

編集後記

福沢先生の手紙に「知己の多きは人間の一大快樂、其人を知て之と音信を絶つは亦一大不快なり。何卒詳(つまびらか)に友朋の有様を承り、永く情誼を交通いたし度事に御座候」(明治11. 1. 13本山彦一宛)とある。11月29日(日)新宿京王プラザホテルでの慶應志木会第2回総会には、一人でも多くの仲間が、懐かしい元氣な顔で集まってくれるよう、まず名簿の整備にご協力を…。 (馬)

慶應志木会会報 1992(春・夏号)●Vol. 7

平成4年5月20日発行  
 編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)  
 〒353 志木市本町4-14-1  
 発行人 櫻井英太郎  
 印刷 ㈱精興社